

今こそ アジアを 考える

総勢
155名
の識者が
伝える
基礎知識！

中国からひろまった漢字漢文にもとづく思想や文化は、日本だけでなく、各地域でどのように展開し、継承と反発をくり返し、独自のものに再創造されたのか。中国、朝鮮半島、日本、琉球、ベトナムなど、これらの共有圏にあった十九世紀以前の前近代の東アジアを俯瞰し、論じていく。東アジアと日本、世界を接続して考え、問い直していくシリーズ、東アジア文化講座。これからのアジアを生き抜くヒントがここにある。

各巻●
定価：本体 2,800円(税別)

東アジア文化講座

一挙刊行！ 交流を学ぶシリーズ

全4巻

〔各巻編者〕

〔1巻〕**染谷智幸**〔茨城キリスト教大学教授〕●編

〔2巻〕**金文京**〔京都大学名誉教授〕●編

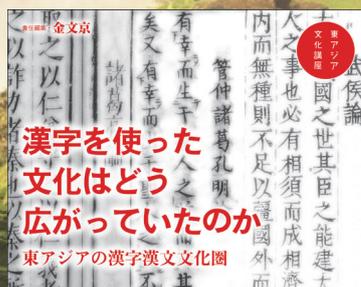
〔3巻〕**小峯和明**〔立教大学名誉教授〕●編

〔4巻〕**ハルオ・シラネ**〔コロンビア大学教授〕●編

前近代の
東アジアの交流を
学び、今に活かす



ISBN978-4-909658-44-9
A5判・並製・カバー装・448頁



ISBN978-4-909658-45-6
A5判・並製・カバー装・452頁



ISBN978-4-909658-46-3
A5判・並製・カバー装・460頁



ISBN978-4-909658-47-0
A5判・並製・カバー装・432頁

【シリーズ特長】

- 各巻のテーマは、1巻「往還・海域・島嶼・交易・聖地」2巻「漢字文化圏の文字、読み方、翻訳、書き方、交流」3巻「文学圏と学芸、宗教、文学、侵略、歴史」4巻「地理、気候、文化、詩歌、風俗、文化、食、年中行事、芸能」。東アジアをトータルに見わたすことが出来る初めての講座！
- 各界の識者155名による最新の研究成果でわかりやすく紹介！
- これからアジアの世界を生きる、学生、社会人などすべての人に基礎知識を提供！



文学通信

★日本文学研究関連の情報を幅広く収集、毎日更新中!ぜひご覧下さい→ <http://bungaku-report.com>
〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1-35-6-201 電話03-5939-9027 FAX03-5939-9094 info@bungaku-report.com

全巻構成

全巻索引付き

染谷智幸編

はじめに交流ありき

東アジアの文学と異文化交流

東アジア
文化講座
1

【目次】

総序 東アジアの文化と文学 ● 小峯和明

序 はじめに交流ありき―東アジアの文学と異文化交流 ● 染谷智幸

第1部 東アジアの往還

- 1 渡海記と漂流記―十六世紀以前を中心に ● 鈴木彰
- 2 漂流と漂着『韃靼漂流記』を中心に ● 水谷隆之
- 3 遣唐使の文学―往来する人々 ● 水口幹記
- 4 遣明船と策彦周良―黒衣の交渉人 ● 空井伸一
- 5 大航海時代のキリスト教とアジア
―ザビエルの鹿兒島伝道 ● 岡美穂子
- 6 朝鮮通信使と燕行使の文学 ● 高橋博巳
- 7 琉球と唐・ヤマトの交際・交文
―一七―四年の江戸立を中心に ● 島村幸一
- 8 崔致遠と東アジア―『補安南録異図記』を中心に ● 金英順
- 9 日朝文人の交流―『兼葭雅集図』の例から ● 鄭敬珍

第2部 海域と伝承

- 1 黒潮文化圏と新「海上の道」―柳田国男の想像力 ● 角南聡一郎
- 2 農業国家アンコールの「航海神」観音 ● 宮崎晶子
- 3 媽祖と海域の文化 ● 菊地章太
- 4 日本海海域の文芸―幸若舞曲『笈搜』小考 ● 宮腰直人
- 5 海域生物をめぐる言説―シヤチ・クジラを事例として ● 杉山和也
- 6 朝鮮の海域伝承―玉英、東アジアを放浪する ● 朴知恵

第3部 島嶼の文化

- 1 港市と島嶼の文学―北九州海辺の伝承世界から ● 菊地仁
- 2 中台交流史からみる台湾の宗教文化
―三山国王信仰を事例として ● 志賀市子

- 3 台湾の鄭成功伝承 ● 小俣喜久雄
- 4 奄美のユタ伝承と東アジア ● 福寛美
- 5 八重山の文化 ● 澤井真代
- 6 古代中国と済州島の交流 ● 黄曉星
- 7 八重山・小浜島の念仏歌 ● 酒井正子

第4部 交易と文化

- 1 海賊と海商 ● 森田雅也
- 2 東南アジア交易と中国人町・日本人町 ● 松浦史明
- 3 明末白話小説と海外貿易 ● 中島栄章
- 4 長崎民衆の異国認識 ● 位田裕美
- 5 経済小説の胎動と東アジアの交易
―経済以前と貨幣の歴史 ● 染谷智幸
- 6 文化力シフトパワーと政治・経済
―朝鮮半島のルネサンスと南北対話 ● Emanuel Pastreich
- 7 仏教経典と長者伝承 ● 堀部正円
- 8 東アジアの紙銭 ● 森田憲司
- 9 南シナ海の高海盜―張保仔と女海賊鄭一嫂 ● 松尾恒一

第5部 東アジアの聖地

- 1 五台山の仏教文化―東アジアが育んだ歴史 ● 小島裕子
- 2 普陀山と観音信仰 ● 張龍妹
- 3 泰山と日本の古典文芸―泰山名句と封禪説話を中心に ● 李銘敬
- 4 金剛山像―金同伝説とその変遷 ● 龍野沙代
- 5 〈聖地〉の近代化と東アジア ● 染谷智幸
- 6 反逆者たちの聖地 ● 丸井貴史

金文京編

漢字を使った文化は

どう広がっていたのか

東アジアの漢字漢文文化圏

【目次】

序 東アジアの漢字・漢文文化圏 ● 金文京

第1部 漢字文化圏の文字

- 1 漢字の誕生と変遷

―甲骨から近年発見の中国先秦・漢代簡牘まで ● 大西克也

- 2 字音の変遷について ● 古屋昭弘
- 3 新羅・百濟木簡と日本木簡 ● 李成市
- 4 ハングルとパスハ文字 ● 鄭光
- 5 異体字・俗字・国字 ● 笹原宏之
- 6 疑似漢字 ● 荒川慎太郎
- 7 仮名 ● 入口敦志
- 8 中国の女書 (nushu) ● 遠藤織枝
- 9 中国地名・人名のカタカナ表記をめぐって ● 明木茂夫

第2部 漢文の読み方と翻訳

- 1 日本の訓読の歴史 ● 宇都宮啓吾
- 2 韓国の漢文訓読(釈読) ● 張景俊(金文京訳)
- 3 ウィグル語の漢字・漢文受容の様態
―庄垣内正弘の研究から ● 吉田豊
- 4 ベトナムの漢文訓読現象 ● Nguyen Thi Oanh
- 5 直解 ● 佐藤晴彦
- 6 諺解 ● 杉山豊
- 7 ベトナムにおける漢文の字喃訳 ● 嶋尾稔
- 8 角筆資料 ● 西村浩子
- 9 日中近代の翻訳語―西洋文明受容をめぐって ● 陳力衛

第3部 漢文を書く

- 1 東アジアの漢文 ● 金文京
- 2 仏典漢訳と仏教漢文 ● 石井公成
- 3 史文 ● 水越知
- 4 書簡文 ● 永田知之
- 5 白話文 ● 大木康
- 6 日本の変体漢文 ● 瀬間正之
- 7 朝鮮の漢文・変体漢文 ● 沈慶昊
- 8 朝鮮の吏読文 ● 朴成鎬
- 9 琉球の漢文 ● 高津孝

第4部 近隣地域における漢文学の諸相

- 1 朝鮮の郷歌・郷札 ● 伊藤英人
- 2 朝鮮の時調―漢訳時調について ● 野崎充彦
- 3 朝鮮の東詩 ● 沈慶昊
- 4 句題詩とは何か ● 佐藤道生
- 5 和漢聯句 ● 大谷雅夫
- 6 狂詩 ● 合山林太郎
- 7 ベトナムの字喃詩 ● 川口健一

第5部 漢字文化圏の交流―通訳・外国語教育・書籍往来

- 1 華夷訳語「付」元朝秘史●栗林均
- 2 西洋における中国語訳と語学研究●内田慶市
- 3 朝鮮における通訳と語学教科書●竹越孝
- 4 長崎・琉球の通事●木津祐子
- 5 佚存書の発生―日中文献学の交流●住吉朋彦
- 6 漢文による筆談●金文京
- 7 中国とベトナムにおける書籍交流●陳正宏(鶴浦恵訳)
- 8 中国と朝鮮の書籍交流●張伯偉(金文京訳)
- 9 東アジアの書物交流●高橋智
- 10 日本と朝鮮の書籍交流●藤本幸夫
- 11 日本における中国漢籍の利用●河野貴美子

小峯和明編

東アジアに共有される 文学世界 東アジアの文学圏



【目次】

序 東アジアの文学圏●小峯和明

第1部 東アジアの学芸

- 1 儒教の世界―近世日本の場面から●中村春作
東アジアの注釈学
- 2 宋・遼・高麗・日本をつなぐ(注釈の知)●小川豊生
医学と本草学―十六世紀以前の中国と日本を中心に●岩本篤志
類書の「世界」●井上巨
- 3 絵と絵師にみる日本と中国●楊曉捷
- 4 軍書・軍学・兵法●井上泰至
- 5 中国古代兵学―漢文圏の兵学研究●司志武
- 6 占術書―文芸交流の事例として●Matthias Hayek
- 7 盤上遊戯●原克昭

第2部 東アジアの宗教と文学

- 1 仏伝の変成―浄飯王の物語●趙恩鶴
- 2 法華経の文学的な営み―「本朝法華験記」を事例として●馬駿
- 3 道教と神仙―「列仙伝」から「列仙全伝」へ●千本英史
- 4 東アジアと陰陽道●山下克明
- 5 キリシタン文学と東アジア―キリシタン版の「側面」●神田千里
- 6 韓国の檀君神話と檀君神話●張哲俊
- 7 北部ベトナムの宗教文化―九天女信仰の発展●大西和彦
- 8 須弥山と芥子―極大と微小の反転●高陽

- 10 仏陀の夢と非夢―西行伝への示唆をもとめて●荒木浩
- 9 神道と東アジア●伊藤聡

第3部 東アジアの侵略と文学

- 1 モンゴルの侵略とその言説―「越旬幽霊集録」を読む●佐野愛子
- 2 倭寇と文学―中国明清文献にみる秀吉像を中心に●陳小法
- 3 壬辰倭乱とその文学●松本真輔
- 4 琉球侵略と文学―「薩琉軍記」の世界●目黒将史
- 5 蝦夷と北方の言説●徳竹由明
- 6 亡命・拉致の文学●樋口大祐
- 7 東アジアの鄭成功●韓京子
- 8 ベトナムの英雄像●高津茂
- 9 韓国から見た日本の耳塚●魯成煥

第4部 東アジアの歴史と文学

- 1 琉球の歴史叙述と説話●木村淳也
- 2 朝鮮の野談と歴史書―戦乱ものを中心に●野崎充彦
- 3 歴史と説話との交差
―ベトナムの「劍湖伝説」を事例として●Pham Le Huy
- 4 正史と稗史の間隙●洪晟準
- 5 「三國史記」と「三國遺事」●袴田光康
- 6 東アジアの地図を読む
―十九世紀大坂商人の東アジア●小林ふみ子

第5部 東アジアの文芸世界

- 1 才子佳人の世界●鄭炳説(金英順訳)
- 2 かなとハングル、王朝と女性文学●金鍾徳
- 3 東アジアの笑話―滑稽の類似と相違●琴榮辰
- 4 「剪燈新話」と日本文学
―「錢湯新話」から「浮世風呂」まで●近衛典子
- 5 「剪燈新話」の東アジアへの展開と「金鰲新話」●染谷智幸
- 6 「伝」の世界―「孝子伝」から「阿Q正伝」まで●宇野瑞木

ハルオ・シラネ編

東アジアの自然観

東アジアの環境と風俗



【目次】

序 環境と二次的自然●ハルオ・シラネ

第1部 地理、気候、文化

- 1 海と島の文学誌●小峯和明
- 2 山と森の文化史―山林にて、虎と遭う●北條勝貴
- 3 風水と文化―風水術の持つ宗教性●宮崎順子
- 4 隠遁思想と文芸―山から都会へ●陸晚霞
- 5 歌枕と名所―湯殿山から象潟へ●錦仁
- 6 災害と文学●佐伯真一
- 7 女と妖怪―うぶめを中心に●安井眞奈美
- 8 脱人間中心主義の文学―石牟礼道子の(魂)の秘境●野田研一

第2部 四季の文化と詩歌―二次的自然の世界

- 1 詩歌と物語の四季―冬の夜を中心に●李愛淑
- 2 詩歌と絵画・画賛の文化―日本中世禅林を中心に●堀川貴司
- 3 庭園の意匠―古代インド・東アジアの方形池をめぐって●多田伊織
- 4 屏風絵と貴族社会●井戸美里
- 5 季節の哲学―麻衣、着れば懐かし●天野雅郎
- 6 歳寒三友と四君子●宮崎法子

第3部 風俗と文化

- 1 化粧・髪型と文化●平松隆円
- 2 染織の模様と文化●小山弓弦葉
- 3 香と文化●堀口悟
- 4 都市図の発達と風俗画●崔京国
- 5 肥前磁器に描かれた文様と古典文学●Nguyen Thi Lan Anh
- 6 妓女と遊女の文化●山田恭子
- 7 境界を越える名妓吉野●渡辺憲司
- 8 春画●山本ゆかり

第4部 食文化と文芸

- 1 食文化と料理●原田信男
- 2 米や酒そして作物―韓国と日本の比較を通して●伊藤信博
- 3 茶の文化と文芸●石塚修
- 4 年中行事と食―「宇多天皇御記」にみる●劉曉峰
- 5 ベトナムの龍神●鍋田尚子

第5部 年中行事と芸能

- 1 東アジアの雛―鬼神往還祭儀●野村伸一
- 2 年迎えと祖霊祭祀―古代からの伝承・歴史と現代●松尾恒一
- 3 舞・踊り・歌謡●諏訪春雄
- 4 シャーマンと芸能―折口信夫を読み直すために●斎藤英喜
- 5 政治と怨霊・鎮魂―怨霊となった崇徳院と端宗●韓正美
- 6 パンソリと浄瑠璃の「語り」●西岡健治

編者プロフィール



染谷智幸 (そめや・ともゆき)

茨城キリスト教大学教授。専門分野は日本文学・日韓比較文学。著書に『西鶴小説論—対照的構造と〈東アジア〉への視界』(翰林書房、2005年)、『韓国の古典小説』(べりかん社、2008年)、『日本近世文学と朝鮮』(勉誠出版、2012年)、『男色を描く—西鶴のBLコミカライズとアジアの〈性〉』(勉誠出版、2017年)、『日本永代蔵 全訳注』(講談社学術文庫、2018年)など。



金文京 (きん・ぶんきょう)

京都大学名誉教授。専門分野は中国文学(戯曲、小説)。著書に『三国志演義の世界 増補版』(東方書店、2010年)、『漢文と東アジア—訓読の文化圏』(岩波新書、2010年)、『李白—漂泊の詩人その夢と現実』(岩波書店、2012年)など。



小峯和明 (こみね・かずあき)

立教大学名誉教授、中国人民大学高端外国專家。専門分野は日本中世文学、東アジア比較説話。著書に『説話の森—中世の天狗からイソップまで』(岩波現代文庫、2001年)、『中世日本の予言書—〈未来記〉を読む』(岩波新書、2007年)、『中世法会文芸論』(笠間書院、2009年)、『遣唐使と外交神話』(集英社新書、2018年)など。



ハルオ・シラネ (Haruo Shirane)

コロンビア大学教授。専門分野は日本文学・文化。著書に『夢浮橋—源氏物語の詩学』(中央公論社、1992年)、『芭蕉の風景 文化の記憶』(角川書店、2001年)、『四季の創造—日本文化と自然観の系譜』(KADOKAWA、2020年)など。

ご注文方法

- 全国の書店でお買い求め頂けます。
- お近くに書店が無い場合、小社に直接ご連絡いただいても構いません。
電話=03-5939-9027 Fax=03-5939-9094 メール= info@bungaku-report.com
お葉書= 〒170-0002 東京都豊島区巢鴨1-35-6-201 文学通信営業部

ご注文・お問い合わせ

Fax 03-5939-9094 〒170-0002 東京都豊島区巢鴨1-35-6-201 文学通信営業部
電話=03-5939-9027 Fax=03-5939-9094 メール=info@bungaku-report.com

申込書

●染谷智幸編 はじめに交流ありき 東アジア文化講座1 東アジアの文学と異文化交流 ISBN978-4-909658-44-9 定価:本体2,800円(税別)	冊	書店名
●金文京編 漢字を使った文化はどう広がっていたのか 東アジア文化講座2 東アジアの漢字漢文文化圏 ISBN978-4-909658-45-6 定価:本体2,800円(税別)	冊	
●小峯和明編 東アジアに共有される文学世界 東アジア文化講座3 東アジアの文学圏 ISBN978-4-909658-46-3 定価:本体2,800円(税別)	冊	
●ハルオ・シラネ編 東アジアの自然観 東アジア文化講座4 東アジアの環境と風俗 ISBN978-4-909658-47-0 定価:本体2,800円(税別)	冊	
ご住所 〒	お電話()	書店名
お名前		

毎度ありがとうございます。ご注文をお待ちしております。

※お客様のご住所・氏名などの個人情報は、お申し込みの書籍を小社から書店様にお届けするために、販売会社・書店で利用させていただきます。その他の目的では利用いたしません。ご了承のうえ、お書き下さい。